株式会社Eストアー

第12期

事業報告書

ONLINE MARKETING AND SYSTEMS

Estore

平成21年4月1日 〜 平成22年3月31日

日本中をウェブショップだらけにしたい

インターネットで皆の日本経済を造る

資本力に拠らず、誰にでも同じだけ、チャンスの場があるインターネットの世界。
私たちEストアーは創業の1999年以来、インターネットの出現で世の中は激変し、良くなると考えています。

インターネットは、ニーズの多様化と極少分散、そしてマーケットの変化を産み出しました。
『大、多、力、量』の時代から、『小、少、心、質』の時代に切り替わったのです。つまり、『小さな会社が、少ない商品を、心と品質で売る経済』。
これがインターネットが社会を変え、万人にチャンスをもたらす本質です。
その主役が、私どものお客様ご自身であると確信しています。ウェブショップで楽しく仕事をして頂きたい。そう願っています。

ヒトが悦ぶ笑顔を見ることが自分にとって最大の宝物

ヒトが喜ぶことを因果とし、その応報としてお金を頂き成立したい

この言葉が心の頂点にある人がEストアーに集まっています。
なぜなら、社会は急速に資本力や権力というものから、愛される力と権威が大切な世の中に切り替わっているからです。
商売は、心が動くから、お金が動く。あたりまえの自然の摂理です。
このキーワードで満たされた企業やヒトは、そのサイズによらず成功し、社会に愛され祝福される。
Eストアーはそう考えています。

時流を読んで事業を展開
ウェブショップの普及が日本の経済を支える

Q ウェブショップの普及とEストアーの成功の背景についてお聞かせください。

A 端的に言えば「時流に乗った」ということです。ウェブショップの動向は、概ね3年周期で変化しながら普及してきました。その動きを先取りして、当社の事業展開も約3年毎にバージョンアップしてきました。10年、20年先を読む、というよりは、3年から5年先の時流をある程度正確に読み取る能力が、この業界では必要とされています。特に消費者の時間の費やし方における行動パターンの変化には注目しています。いずれにしても「日本中をウェブショップだらけにしたい」という気持ちは不変です。

Q 消費者の行動パターンをどのように見ておられますか。

A 消費行動のきっかけとなる情報の入手方法として、TV・新聞・雑誌からインターネット・携帯電話など電子デバイスに変わったのが約10年前でした。当初はポータルサイトの閲覧に時間が費やされましたが、やがて検索が中心となりました。その後SNS（知り合いとつながるためのコミュニケーション型ウェブサイト）が拡大し、今後はツイッターに代表される、つながりの緩いコミュニケーションによる情報入手に移行していくものと思われます。すなわち人に囲われていない手段や経路による情報収集が、これからは拡大すると読んでいます。

ツイッターなどの展開によって、広告というものは姿を変えてくるはずです。与えられた環境を無視して好きなものを作れるようになると、従来型の広告は飽きられてきます。生の感想など臨場感のあるものが喜ばれるようになるでしょう。従来型のSNSや検索ポータルとツイッターが異なるのは、送り手の“思惑”を反映した情報ではなく、信頼する知人や友達など近い関係の人の情報を得られるという点です。身近で安心できる情報として、買物の際の参考とする機会が増えるものと思われます。

代表取締役
石村　賢一

Q その他注目される広告媒体や情報端末はありますか。

A 実は、意外にアナログの世界が復活してくる可能性を感じています。消費者は、ネットや携帯電話を存分に活用する一方で、アナログ情報との接点の快適さを再認識する傾向が出ています。当社としても消費者を店舗に呼び込む経路としてアナログの採用を始め、東京都内の地下鉄ターミナル駅に自社媒体のポスター広告を掲示しました。

また、主に女性をターゲットとした雑誌を発行している株式会社主婦の友社と共同で、雑誌「S Cawaii!」、「GISELe」、「ef」などのショッピングサイトを開設し、雑誌の読者を店舗に呼び込むような仕掛けを構築しています。

さらに、最新の電子デバイスであるiPadなど情報端末の登場は、アナログコンテンツの復活につながると見ています。横書きのネット上の文字ではなく、新聞や雑誌を、そのままの姿で読むことができます。電子デバイス技術の向上によってアナログ媒体からの消費者誘導の可能性が膨らみます。ここは当社としても当然踏み込んでいく分野として捉えています。現在はiPhoneなどのスマートフォンから、テレビで紹介された商品を購入できるシステムを試験的に店舗様に紹介しております。雑誌やテレビといった旧来の媒体を介してのウェブショップへの集客は、当社のさらなる発展につながるものとして力を注いでいきます。

Q それでは、好調な業績についてお聞かせください。

A 平成22年3月期の業績は、売上高36億43百万円（前期比11.9％増）、営業利益5億円（前期比19.0%増）、経常利益5億6百万円（前期比19.6%増）、当期純利益2億87百万円（前期比20.6%増）となり、7期連続の増収増益となりました。ウェブショップ市場の拡大と当社の戦略が相乗効果となって業績に寄与している状態です。

当社の売上は現在、主に店舗様の数に応じて増減するストック部分と、店舗様の業績に応じて変化するフロウの部分とで構成されています。市場の拡大によって店舗様の数も増加したため、ストック売上が順調に増加しました。一方、ストックを上回る勢いで、店舗様業績の向上によるフロウの売上が伸び、フロウが売上全体の約1/3を占めるほどに成長しました。

また、営業面では自社の営業部隊による販路が大きく伸張し、OEMなどの外部販路を売上面で凌駕したことが今期の特徴です。自社販路においては、直接当社が店舗様にコンタクトすることができるため、売上を向上させるための当社独自のノウハウ等を提供することができます。当社のサポートによって店舗様が成長し、それによって当社のフロウの業績が拡大する、という成長の好循環の構築を目指します。当社としましては今後も、売上面でフロウの

地下鉄駅広告

当社運営ショッピングサイト

「GirlsMorning（ガールズモーニング）」
http://girlsmorning.jp/

「TVT5
（テレビトレンドファイブ）」
今TVで紹介されている商品をお知らせするアプリケーション

向上を、営業面で自社販路への注力をポイントに事業展開してまいります。

Q 将来収益の対応についてお聞かせください。

A 一つは、環境の変化に順応して事業戦略を実行できる基盤の充足です。当社は順調に利益を積み上げていますが、利益率は現状の10～15%（経常利益ベース）維持を目標とし、むしろまだ成長のための適正な投資を実施することに力点を置いています。日々進化するソーシャルグラフや電子デバイスに対応する積極的な投資をバランスよく実施していきます。

もう一つは環境が変わっても、逆に変化しない部分を大切にしたいと考えます。昨年、実験してみてわかったことは、ITや流通経路がどんなに変化しても商売の基本は変わらない、ということです。商売の原則を押さえることが新たな展開の基地になり、将来的な収益につながると確信します。

Q 地域的な戦略はいかがでしょうか。

A 世間では中国だ、外需だとマーケットを広げていますが、逆に内需を攻める方向性を重視していきます。どう見てもこの国のビジネスチャンスはまだまだあるはずです。この国から離れて、企業や消費者の目がアジアや諸外国に向いているのは、むしろ当社にとっては追い風です。内需に一層焦点をあてて事業展開していきます。

Q 最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 1991年の時点で私は「2010年はネットワークされた江戸時代になる」と言いました。江戸時代は「市民がそれぞれの価値観を認め合って楽しく生活した時代」でした。ウェブショップという形態は、家族的、そこそこ収入、楽しい消費という点で、まさにこの方向性を実現するビジネスモデルと言えるでしょう。ウェブショップが内需を支え、それに携わる企業がわが国をよい方向に導くことを目指します。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

インタビュアー
紹介

櫻井　英明

プロフィール　株式新聞Weekly編集長から経済・株式キャスターに転身。
ラジオNIKKEIやMXテレビなどで数多くの番組を担当し、経済や株式投資に関する著書も多数。

「主婦の友社」共同開設サイト

「GISELe（ジゼル）公式サイト」
http://gisele.shufunotomo.co.jp/

「mina（ミーナ）公式サイト」
http://mina.shufunotomo.co.jp/

「S Cawaii!（エスカワイイ）公式サイト」
http://scawaii.shufunotomo.co.jp/

「ef - 女性ファッション＆ビューティ・エフ」
http://ef.shufunotomo.co.jp/

shopserve ショップサーブ

自社ウェブショップに必要な機能をはじめからすべて揃えて店舗様に提供する、ウェブショップ開店・運営の総合パッケージです。2006年1月よりサービスを開始し、多くのご利用者様から評価をいただいています。

開　店
まずはショップ作り。ホームページやウェブの知識がなくても簡単に開店できます。売れるウェブショップを開くために、ノウハウ満載の資料や電話相談など万全のサポート体制を敷いています。

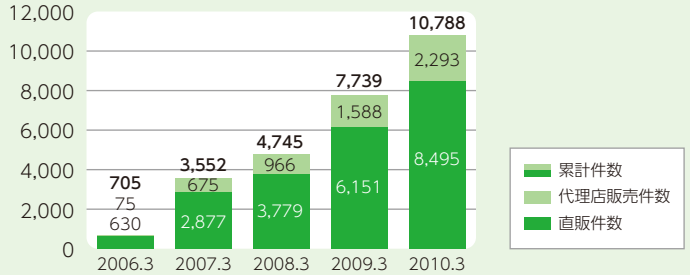
販　売
チャンスを逃さないスムーズな販売機能を提供。商品の選びやすさで消費者の購入意欲を促し、万全のセキュリティ機能を備えた高機能カートに誘導します。安心感、お得感で購入意思をつかむとともに、利便性の良さで消費者のリピートにつなげます。

集　客
独自ドメイン店ならではの販路の自由さを活かし、多様な集客経路から消費者を呼び込めます。SEO対策による検索エンジンからの導入はもちろん、人気の比較サイトやメルマガ、チラシ等のQRコードからの集客もできます。また、さまざまな“口コミ”情報にも、当社「ショッピングフィード」を活用して対応します。

運　営
注文処理、在庫チェック、入金確認、納品書作成、梱包・出荷までの一連のショップ運営を、ウェブ上で一元管理することによって、効率的に行えます。また、メルマガや新着情報などの消費者フォローも実施します。ショップの売上の急増にもあわてずに対応できます。

サポート
ショップの開店・運営の不安や悩みを随時解消。さらに売上アップのためのノウハウやサービスを提供し、ウェブショップのさまざまなバックアップをしています。

ショップサーブ契約件数推移



ショッピングフィード SHOPPINGFEED

ショップサーブ、サイトサーブに標準された集客サービスです。ウェブショップ上の商品をワンクリックで登録しておくだけで、集客効果が格段に向上します。消費者がたくさん訪れる50以上の有名サイトと提携しており、ブログなどの個人ページや情報サイトの“口コミ”等から、消費者が舞い込んでくる仕組みです。ページビューが大幅に拡大するなか、提携サイトも続々増加中で、当社サービスをご利用のウェブショップの業績向上に貢献しています。

siteserve サイトサーブ

当社が提供する、ウェブショップ専用の高機能レンタルサーバーです。ウェブショップ運営に必要な機能がまとめて標準装備されたサーバーで、当社が1999年から運用を続ける安心のブランドです。

当社サービスをご利用
いただいているウェブショップは、
お客様の**こだわりが詰まった**
いろいろなジャンルの店舗が
展開されています。

信頼と**実績**の当社サービスを
ご利用の店舗様をご紹介します。

有限会社プロジェクトエフ様

エフ　オンラインショップ

http://www.project-f.com/

こだわりのサンダルを中心に、さまざまな個性溢れるファッションアイテムをご紹介。

お取扱商品

ビルケンシュトック、カルザノール、アルコペディコをはじめとする海外ブランド製品

タンスのゲン株式会社様

激安家具通販　アウトレット家具通販 タンスのゲン　本店

http://www.tansu-gen.jp/

家具を通してもっと楽しく夢溢れる生活をご提案いたします。

お取扱商品

総合家具インテリア

株式会社アルビレックス新潟様

アルビレックス新潟 オフィシャルインターネットショップ

http://www.albirexshop.com/

Jリーグ加盟プロサッカークラブ「アルビレックス新潟」のオフィシャルグッズをオンラインで提供。

お取扱商品

アルビレックス新潟オリジナルグッズ
アパレル、アクセサリー、雑貨、CD、DVD、出版物等

北海道漁業協同組合連合会様

産直ネットショップ　北海道ぎょれん

http://www.gyoren.net/

北海道から、新鮮な海の幸を「産地直送」でお届けします。

お取扱商品

鮮魚介類・水産加工品などの海産物

株式会社アイシス様

オーガニック生活便

http://www.isis-gaia.net/

人と地球にやさしいオーガニックライフを提案しています。

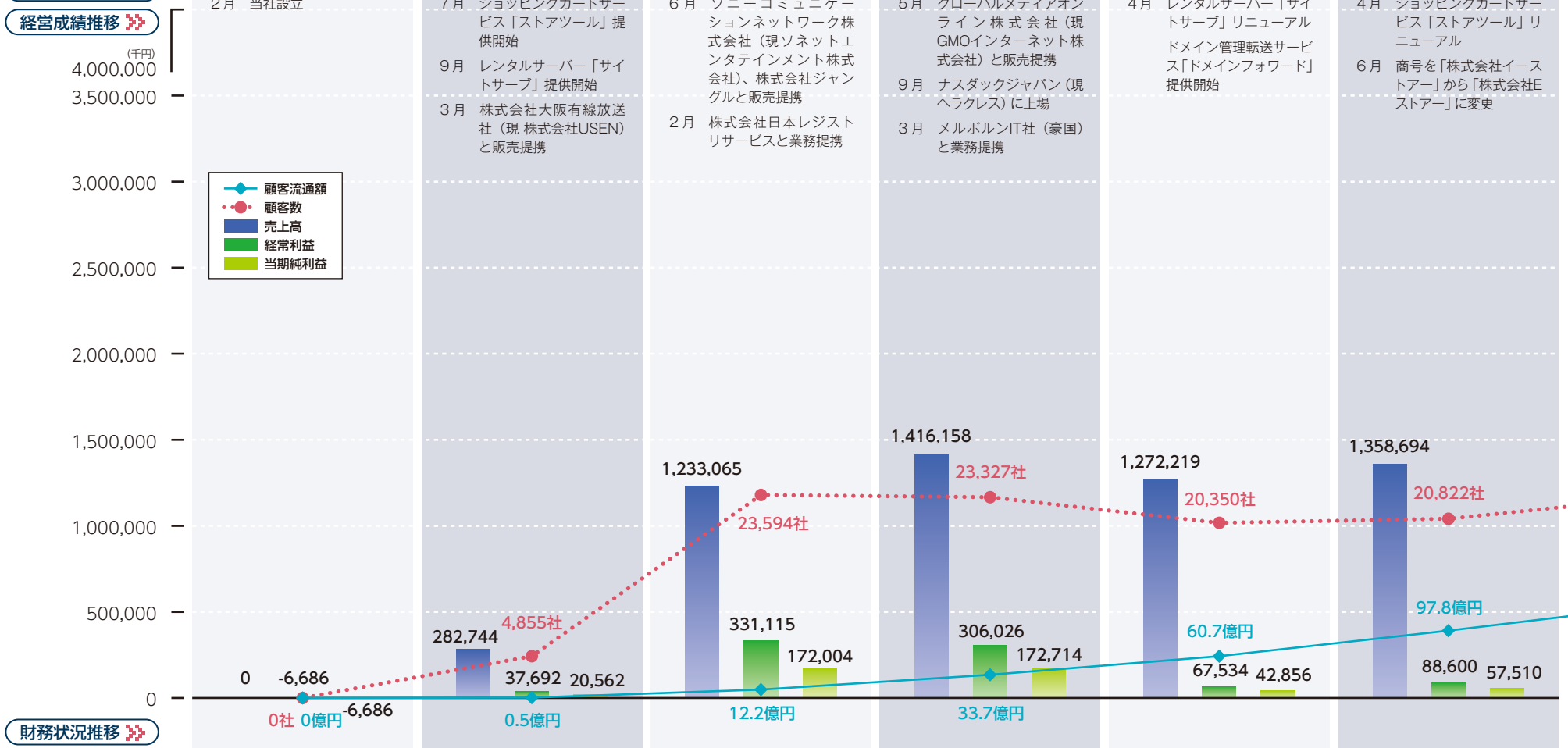
お取扱商品

オーガニックコスメ、オーガニックコットン、衣類雑貨類ほか

History

Eストアーの歩み

	第1期 1999年3月期	第2期 2000年3月期	第3期 2001年3月期	第4期 2002年3月期	第5期 2003年3月期	第6期 2004年3月期
トピックス	2月　当社設立	7月　ショッピングカートサービス「ストアツール」提供開始 9月　レンタルサーバー「サイトサーブ」提供開始 3月　株式会社大阪有線放送社（現 株式会社USEN）と販売提携	6月　ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社（現ソネットエンタテインメント株式会社）、株式会社ジャングルと販売提携 2月　株式会社日本レジストリサービスと業務提携	5月　グローバルメディアオンライン株式会社（現GMOインターネット株式会社）と販売提携 9月　ナスダックジャパン（現ヘラクレス）に上場 3月　メルボルンIT社（豪国）と業務提携	4月　レンタルサーバー「サイトサーブ」リニューアル ドメイン管理転送サービス「ドメインフォワード」提供開始	4月　ショッピングカートサービス「ストアツール」リニューアル 6月　商号を「株式会社イーストアー」から「株式会社Eストアー」に変更



財務状況推移

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
総　資　産（千円）	3,777	598,887	995,174	1,377,803	1,347,060	1,671,454
純　資　産（千円）	3,313	489,655	661,660	1,207,975	1,254,741	1,513,172
一株当たり当期純利益（円）	-8,358.35	11,127.16	4,610.39	4,380.05	1,037.49	1,188.49
一株当たり純資産（円）	4,141.65	13,124.69	17,735.08	29,243.13	30,375.27	29,304.60
EBITDA（千円）※	-6,754	47,092	326,204	354,861	122,718	131,139

※営業利益＋減価償却費（CF）

第7期 2005年3月期

7月　株式会社テレウェイヴ（現株式会社SBR）と業務・資本提携

11月　子会社「株式会社パーソナルショップ」の設立

コンテンツ（情報）販売サービス「インフォストア」提供開始

第8期 2006年3月期

6月　コマースリンク株式会社と業務提携

7月　東京都港区に本店移転

11月　ヤフー株式会社と業務提携

株式会社カカクコムと業務提携

1月　独自ドメインウェブショップ総合支援サービス「ショップサーブ」提供開始

第9期 2007年3月期

10月　フリーペーパー「fido」創刊

11月　商品検索サイト「ショッピングフィード」提供開始

ご利用ユーザー数40,000社を突破

第10期 2008年3月期

5月　レンタルサーバー「サイトサーブ2」提供開始

10月　大阪営業所開設

12月　ベトナム・ホーチミン市にシステム開発拠点を開設

第11期 2009年3月期

7月　「ショッピングフィード」を経由した顧客売上が月間1億円を突破

2月　携帯サイト「ショッピングフィード・モバイル」提供開始

3月　ヤフー株式会社と資本提携

第12期 2010年3月期

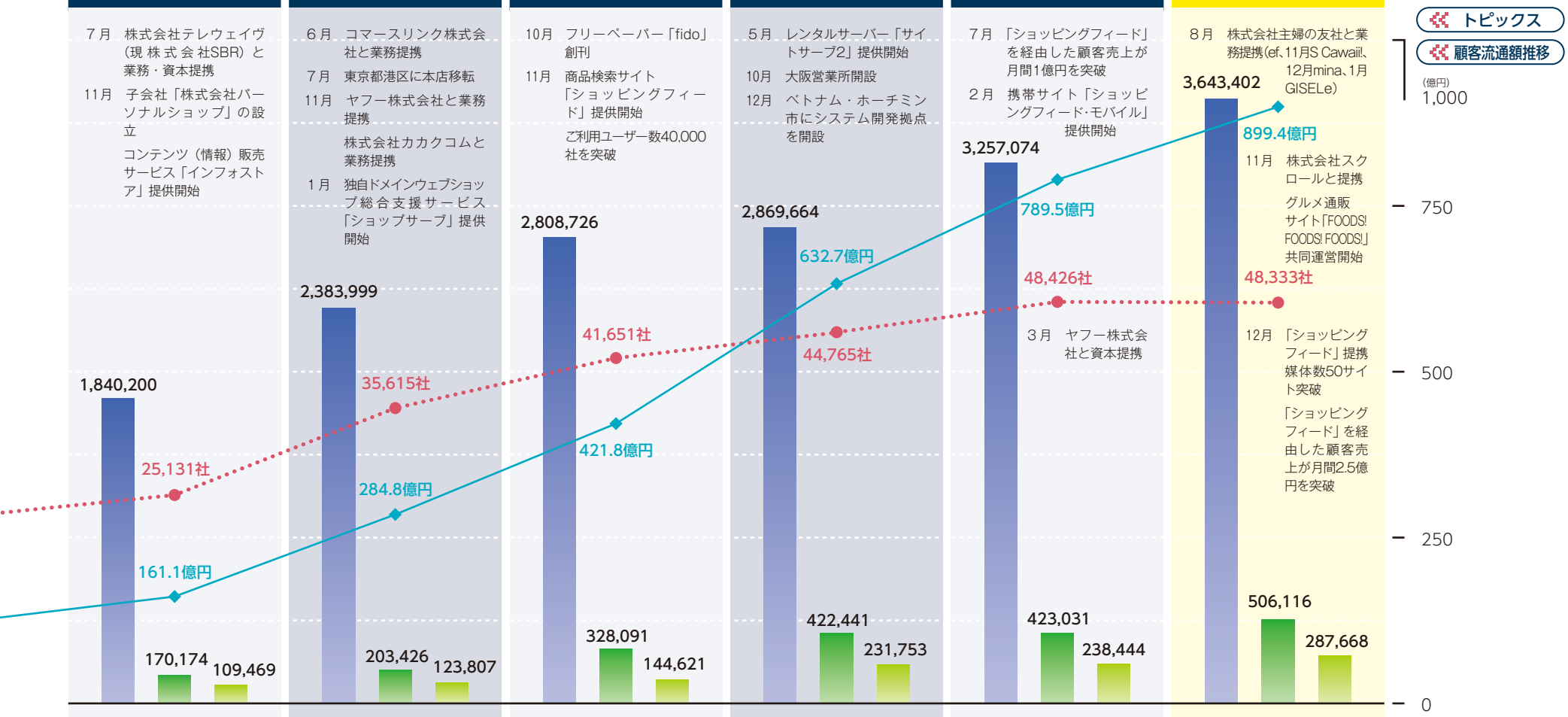
8月　株式会社主婦の友社と業務提携（ef、11月S Cawaii!、12月mina、1月GISELe）

11月　株式会社スクロールと提携

グルメ通販サイト「FOODS! FOODS! FOODS!」共同運営開始

12月　「ショッピングフィード」提携媒体数50サイト突破

「ショッピングフィード」を経由した顧客売上が月間2.5億円を突破



財務状況推移

第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	
1,735,308	1,990,600	2,457,916	2,501,655	2,814,528	3,202,889	総資産
1,250,224	1,346,800	1,143,279	1,326,163	1,476,280	1,571,173	純資産
2,128.23	2,523.90	2,996.84	4,967.50	5,110.91	6,364.77	一株当たり当期純利益
25,486.70	27,455.48	24,505.49	28,425.51	31,643.16	35,012.84	一株当たり純資産
232,308	278,934	410,021	519,915	533,733	651,660	EBITDA

貸借対照表（要旨）

平成22年3月31日現在

区　分	金額（千円）
（資産の部）	
流動資産	2,274,105
固定資産	928,783
有形固定資産	247,057
無形固定資産	271,070
投資その他の資産	410,654
資産合計	**3,202,889**
（負債の部）	
流動負債	1,631,716
負債合計	**1,631,716**
（純資産の部）	
株主資本	1,580,577
資本金	523,328
資本剰余金	539,408
利益剰余金	1,300,083
自己株式	△782,244
評価・換算差額等	△11,126
新株予約権	1,722
純資産合計	**1,571,173**
負債純資産合計	**3,202,889**

損益計算書（要旨）

自 平成21年4月1日
至 平成22年3月31日

区　分	金額（千円）
売上高	3,643,402
売上原価	2,027,393
売上総利益	1,616,009
販売費及び一般管理費	1,115,316
営業利益	500,692
営業外収益	5,985
営業外費用	560
経常利益	506,116
特別損失	15,388
税引前当期純利益	490,728
法人税、住民税及び事業税	218,432
法人税等調整額	△15,372
当期純利益	287,668

キャッシュ・フロー計算書（要旨）

自 平成21年4月1日
至 平成22年3月31日

区　分	金額（千円）
営業活動によるキャッシュ・フロー	680,697
投資活動によるキャッシュ・フロー	△336,521
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193,604
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9
現金及び現金同等物の増加額	150,562
現金及び現金同等物の期首残高	1,558,080
現金及び現金同等物の期末残高	1,708,643

株主資本等変動計算書　自 平成21年4月1日　至 平成22年3月31日

（単位：千円）

	株主資本								評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計						
平成21年3月31日 残高	523,328	134,852	404,556	539,408	1,084,729	1,084,729	△661,116	1,486,350	△10,070	△10,070	—	1,476,280
事業年度中の変動額												
剰余金の配当					△72,313	△72,313		△72,313				△72,313
当期純利益					287,668	287,668		287,668				287,668
自己株式の取得							△121,128	△121,128				△121,128
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）									△1,056	△1,056	1,722	666
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	215,354	215,354	△121,128	94,226	△1,056	△1,056	1,722	94,893
平成22年3月31日 残高	523,328	134,852	404,556	539,408	1,300,083	1,300,083	△782,244	1,580,577	△11,126	△11,126	1,722	1,571,173

財務のポイント

Point 1 流動資産

現金及び預金の増加150,562千円、売上高増加に伴う売掛金の増加49,013千円等により、流動資産の残高は、前事業年度末比で219,813千円増加いたしました。

Point 2 固定資産

ソフトウエア開発等によるソフトウエアの増加103,672千円、サーバー等の購入等に伴う備品の増加144,245千円等により、固定資産の残高は、前事業年度末比で168,547千円増加いたしました。

Point 3 流動負債

当社顧客の売上増加に伴う預り金の増加193,391千円、未払法人税等の増加76,040千円等により、流動負債の残高は、前事業年度末比で293,467千円増加いたしました。なお、有利子負債は引き続き発生しておりません。

Point 4 純資産

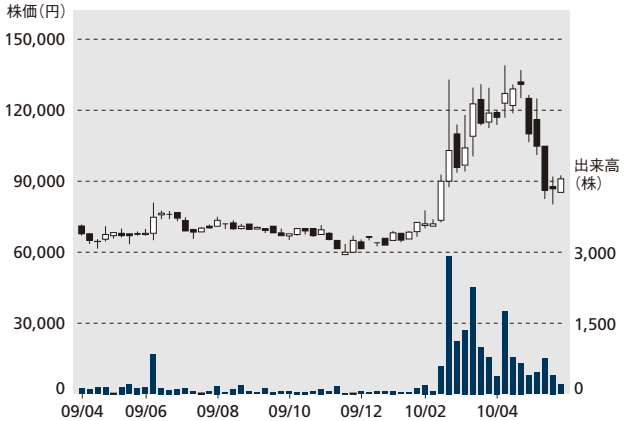
純資産の残高は、前事業年度末比で94,893千円増加いたしました。これは、当期純利益として287,668千円を計上した一方、配当金72,313千円と自己株式取得121,128千円があったことによります。また、利益を投資と株主還元にバランスよく配分しているため、自己資本比率は49.0%（前事業年度末比3.5ポイント減）となっております。

Point 5 キャッシュ・フローの状況

営業活動により増加した資金は680,697千円（前事業年度は505,881千円の増加）となりました。一方、システム高速安定化への投資を中心とした投資活動により336,521千円の資金が減少しました。また、配当金の支払と自己株式の取得による財務活動により193,604千円の資金が減少しました。

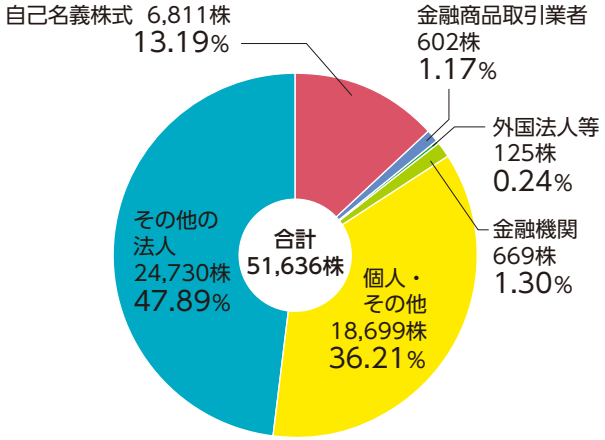
発行可能株式総数	206,544株
発行済株式総数	51,636株
株主数	1,808名

■株価チャート

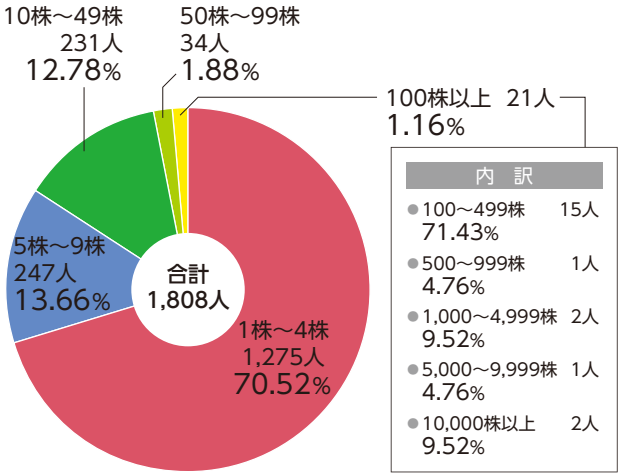


■株主分布状況

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL：0120-232-711（受付時間：平日 9:00～17:00）
公告方法	電子公告により行う。 http://Estore.co.jp/ （ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

〈ご注意〉

1．株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2．特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

3．未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社概要（平成22年3月31日現在）

■ **会社名** 株式会社Eストアー

■ **証券コード** 4304

■ **上場証券取引所** 大阪証券取引所
ニッポン・ニューマーケット「ヘラクレス」市場

■ **本社所在地** 〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目10番2号

■ **設立** 1999年2月17日

■ **資本金** 5億2,332万円

■ **従業員数** 92名

■ **役員**

代表取締役	石村　賢一
取　締　役	曽根　弘一
取　締　役	柳田　要一
社外取締役	今村　耕一
常勤監査役	田村　　誠
社外監査役	岩出　　誠
社外監査役	中村　　渡

（平成22年6月26日現在）

■ **事業内容** Eストアーは企業における電子商取引（EC）のあらゆるサービスの提供によりEコマースの成長と発展に寄与しています。

1．インターネット事業用物流、決済、認証、販促、管理等のサービス提供
2．各種ネットワークサービスの構築、運用、コンサルテーション
3．当社システム並びにサービスのライセンス・OEM提供
- ウェブショップ総合支援「ショップサーブ」
- ホスティングサービス「サイトサーブ」
- ショッピングカート「ストアツール」
- 通販・お取り寄せ商品検索サイト「ショッピングフィード」

http://Estore.co.jp/